「いい線」で描こう（基礎編）

用意するもの…鉛筆１本（HB～2B のもの）
所要時間　　…約３０分

デッサンをしたり、スケッチを描いたりするときに欠かせない鉛筆（えんぴつ）。
今回は、そんな鉛筆を使って、「いい線」を引く練習をします。「いい線」とは、描く対象の“特徴”や描く人の“思い”が伝わってくるような線のことです。やさしい線、かたい線、のびやかな線…。描くものに合わせていろいろな線が引けるようになれば、あなたの表現はもっと深まることでしょう。

まず、やってみよう

鉛筆の持ち方、角度、引く速さなどを工夫して、できるだけ色々な種類の直線を引いてみよう。
どんな工夫をしたのかも、右の枠に書いてくださいね。（描き切れなければ裏に描いてね）

例	鉛筆を立ててゆっくり引いた線

線のよさを味わおう

次は、「線の引き方」に注目して右のスケッチを鑑賞します。あなたが気づいたことや感じ取ったことを、できるだけくわしく書いてみましょう。

「ひなげしをもつ少女」いわさき ちひろ

「線の引き方」をどのように工夫しているだろう。それによって、どのような効果や印象が生まれているだろう。

このスケッチから、あなたはどんな物語や思いを感じ取りましたか。どこからそう感じるのか、なぜそう思うのか、理由も教えてください。

年　　組　　番　名前（　　）

「いい線」で描こう（応用編）

用意するもの…鉛筆２～３本、消しゴム
所要時間　　…約５０分

線を工夫して描いてみよう

『「いい線」で描こう（基礎編）』で学んだことを生かして、身近にある「性質のちがうもの」を線の引き方を変えて描き分けてみよう。例：「**ゴツゴツ**の石」と「**ふわふわ**の毛糸」など。

「　　の　　」	と	「　　の　　」

「絵しりとり」で線の個性を見つけよう

最後は、身近な人（家族や友人）と絵しりとりをしてみましょう。終わったら、「線」を見比べて、人によってどんな違いや個性があるか見つけてみましょう。

スタート

→　→　→　→　→

ゴール　　↓

←　←　←　←　←

どんな線の違いや個性を見つけましたか？

学習をふりかえろう

『「いい線」で描こう』の学習を通して、学んだことを書きましょう。

年　　組　　番　名前（　　）